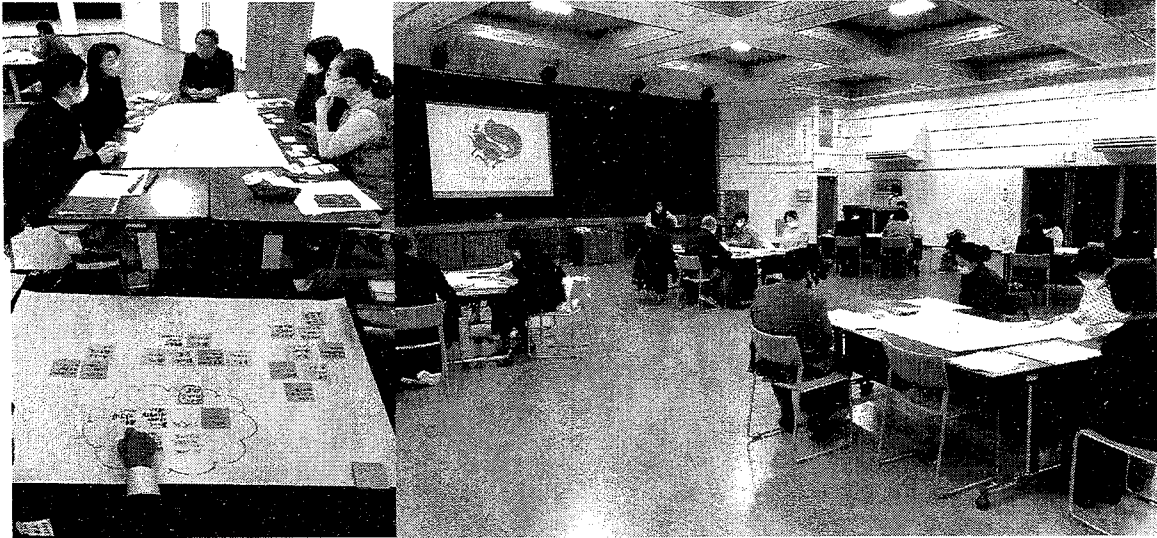


飛騨市生涯学習だより

発行：飛騨市社会教育委員の会
発行日：令和3年3月16日



子育てネットワーク部会活動より

生涯学習だより創刊に

あたり

飛騨市社会教育委員の会

委員長 竹林 敏

『人は生涯学び続け、生涯成長し続ける』私自身も今でも学ぶことは数多くあります。

社会教育委員として、飛騨市生涯学習の発展のために少しでもお役に立ちたいと思っていますが、「何をどうすればいいのか」自問する日々でした。そして今、私たちは次の事をスローガンに掲げ活動することになりました。（私たち自身の目標でもあります。）

『一生涯 楽しく学び続け』

健康な体と豊かな心・教養を

育み 他に貢献する人づくり』

活動の母体として、生涯学習課との協働による「生涯学習推進会議」という組織を作っています。その中に「子育てネットワーク」「青少年健全育成」「文化・芸術振興」「生涯スポーツ振興」の4つの部会を設け、それぞれの領域で活躍してみえる団体や個人の皆様に参

加していただき、ネットワーク作りを進めています。言うならば、目標を同じくする人たちの『ふれあいの場』作りです。ふれあいがあってこそ、『挨拶』『会話・協議』『協力』『研修と学び』が生まれ、『次善の活動と目標』に繋がります。そのために、社会教育委員はそれぞれの部会でコーディネートを担います。

一方で、時代の変化は顕著です。飛騨市も新しい企画が進行しています。私たちは次のことにも取り組んでいく事を確認しました。

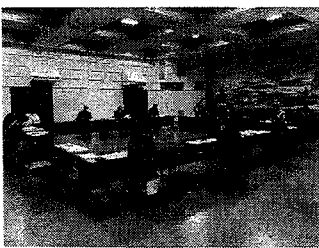
・「飛騨市民カレッジ」への参画

・「地域・学校協働活動」への支援

・「飛騨市学園構想」への協力

市内に生涯学習の波紋が広がることを願います。

皆様のご支援・ご協力の程より
しくお願い申し上げます。



飛騨市社会教育委員の会

子育てネットワーク

部会

子育てネットワーク部会は、日々子育てに奮闘するママやパパ等をみんなで支える地域づくりを推進するために、子育てに関わる各種団体の連携や協力できる体制を整えることを目指して、情報交換や研修会を開催しています。今年度は、昨年度に引き続き「発達」をテーマに活動を行いました。

十一月に開催した第1回の部会では、発達に関する講演会と、コロナ禍に関するグループワークを行い、各団体同士の意見交換を行いました。第1部では、一昨年から飛騨市の児童を中心に発達支援に携わるNPO法人はびりすの山口代表をお招きし、「子どものGIFTを育む発達支援」と題しりすと飛騨市のコラボ」と題し講演をいただきました。これまでの飛騨市における支援事例を交えながら、子どもを豊かに育てる大切さについて学びました。

第2部では、コロナ禍におけ

る取組事例や身近に感じている変化などについて各グループで意見を出し、共有しました。コロナ禍においても子どもの発達を育むような、前向きに取り組めることについてそれぞれにたくさん意見や案が出ました。

三月下旬頃に第2回の部会を開催し内容を共有する計画としておりましたが、また新たなテーマをもとにした子育てに関わる内容を検討することとしたため、書面にて参加者へ共有する予定としています。

子育てネットワーク部会

部会長 溝口 純子



子育てネットワーク部会講演会

青少年健全育成部会

今年度は、新型コロナウイルス感染症により青少年に係る各団体において、例年どおりの活動ができないう状況でありました。

青少年健全育成部会においても『スマホに関するモラル』をテーマに古川・神岡の2会場で広く市民を対象に講演会の開催を予定していましたが感染防止のため中止となりました。そこで、今年度は『スマホに関するモラル』講習会を部会員及び青少年健全育成推進員に限定して開催することに変更し、勉強することで次年度へ繋げる活動と致しました。

十月二十一日にKDDIスマホ・ケータイ安全教室認定講師大久保先生をお招きして保護者向けの講習会を2部構成で行いました。第1部は『トラブルを未然に回避する能力を身につける』をテーマに実際に起こった事例を踏まえ動画を交えながら講義を受けました。第2部は古川中学校田近主幹教諭より市内小中学校アンケート調査を元にスマホ・ケータイ・ネット

関係の現況を説明していただき、その後グループに分かれ意見交流のワークショップを行いました。

講義でのトラブル事例は誰にでも起こる可能性があることを学びました。意見交流会では、トラブルを未然に回避するための能力を親も学び、子供達とコミュニケーションを取りながら親子でルール作りを取り組めると良いという意見が多く出ました。

講習会に参加された方からは今回の講習会に参加して勉強になり、大変参考になったというご意見をいただくことができました。

今回の活動を参考に、スマホ・SNS・インターネット等に関する課題に問題意識を持ち、危険性を学び、コミュニケーション能力を大切にして、問題の共有から解決へステップアップできる研修会を今後計画したいと考えています。飛騨市の青少年健全育成のため、引き続き関係団体の情報交換や課題解決となる研修会を開催し、未来へ繋ぎたいと思います。

青少年健全育成部会

部会長 永倉 秋則

文化芸術振興部会

文化・芸術振興部会では、市民の文化・芸術の振興は幅広い年齢層に及ぶことから、今回「少子化により活動が思うようにできない」「子どもたちに伝える場が少ない」という「子どもたち」をターゲットとした取り組みを展開していこうとスタート致しました。

手始めに、市内の子どもたちの文化・芸術の育成に係わる団体の代表、それらの発表・練習の場を提供している施設の代表の十三団体に部会のメンバーになってもらい、情報の交流・共有を目指し意見交換を行いました。

その中からの課題として、

- ①発表の場が欲しい。
 - ②施設利用料金の減免。
 - ③メンバーの確保が困難。
- の大きく三つが出されました。

令和二年度は①の課題である「発表の場の提供」を目標に、関係団体への呼びかけと、発表の場となる大会等の年間行事・事業実施情報を取りまとめ、それぞれに出場の打診に取り組んでいこうと

計画しました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、会場の利用制限などで練習もままならない状況の中、各大会が延期、中止となり、部会活動も役員会の開催だけとなりました。

新年度に向け、コロナ過の中ではありますが、より楽しく文化・芸術を楽しみ、心豊かに生きる子どもたちの育成のために、「子どもたちの学びの場を止めない」「豊かなつながりの場をつくること」を目標として、文化・芸術を通じて、つなぐ、つなげる、学びの場の創出と仕組みづくりに挑戦していきたいと思えます。

文化芸術振興部会

部会長 小枝 憲一

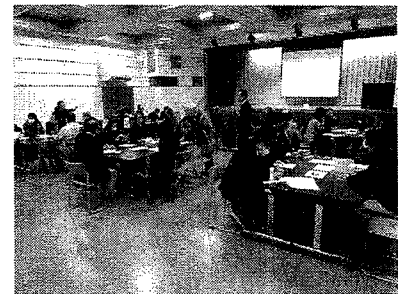
生涯スポーツ振興部会

市内スポーツ関係団体により構成される「生涯スポーツ振興部会」では昨年度、白川町より「総合型地域スポーツクラブ（一社）スポーツリンク白川」を招きスポーツ講演会「地域における子どもたちのスポーツ環境整備の実践」を開催しました。白川町では少子化によりかつて盛んであった「ソフトボール」や「バレーボール」が衰退し中学校部活動が廃部になってしま

したが、地域一丸となり部活動を復活させた事例等を学びました。講演会を機に飛騨市体育協会では、「スポーツ少年団」を体育協会の加盟団体として位置付け「普及」「育成」「強化」の一環とした流れを構築し、末永い飛騨市のスポーツ振興の一翼を担う「スポーツ統括団体」として、名称を「飛騨市スポーツ協会」に改め、令和3年度に新出発するべく視察や講演会等を通して改革を進められています。

生涯スポーツ振興部会ではこうした動きが見られる事は非常に嬉

しく思います。



講演会におけるグループワーク

地域とともに持続可能な運動部活動に

昨年九月、国は学校部活動改革の一環として、令和五年度より休日の部活動の段階的な地域移行を打ち出しました。

県内では羽島市の竹鼻中学校による「全運動部活動の地域クラブ化」が新聞報道等により大きく取り上げられ注目を浴びています。地域で子どもたちのスポーツ環境をどう整えるか飛騨市でも検討が始まっています。スポーツ振興部会ではこうした「地域部活動」についても意見交換会を開催し理解を深めました。

生涯スポーツ振興部会

部会長 大谷 吉憲

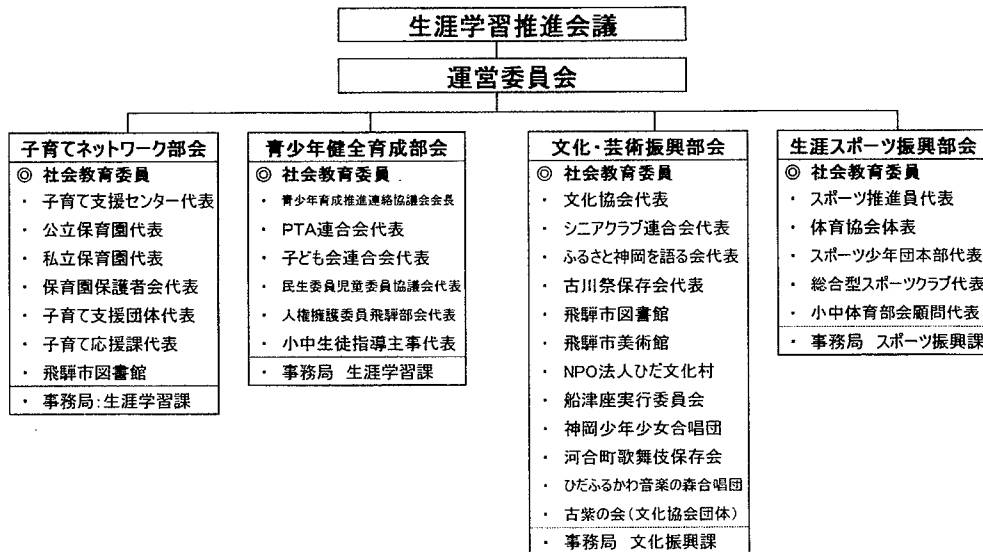


河合町歌舞伎保存会

～飛驒市生涯学習推進会議とは～

- ◆目的 飛驒市内生涯学習関係団体が連携し、飛驒市の生涯学習事業を推進するため、『飛驒市生涯学習推進会議』を設置しています。
- ◆主な活動
 - ・生涯学習事業に関する諸団体との連携・協力体制づくりに関すること。
 - ・生涯学習推進のための諸施策の企画・実施に関すること。

◆組織図



❀お知らせ❀

令和3年度飛驒市民カレッジ本開校

生涯学び自分を磨くことができる環境づくりのため、日本一マジメに面白い飛驒市民カレッジを令和3年度本開校します。

【特色】飛驒市民カレッジが提供する3つの面白い

- ・アカデミックな学び 普段聞けない著名人、大学教授や専門家の講座開催
- ・本当の大学っぽい 入学式・修了式・学園祭の開催や学生証の交付
- ・飛驒市がキャンパス 街中が教室、豊かな資源を活用したキャンパスライフ

7月本開校予定 「学びに卒業なんてない！」

【問合せ】飛驒市教育委員会生涯学習課 Tel0577-73-7495